

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 藤本町共同住宅 新築工事	階数	地上11F 地下1F
建設地	京都市中京区油小路通四条上る藤本町549番	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	116 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年10月16日
敷地面積	611 m ²	作成者	DA総合計画
建築面積	353 m ²	確認日	2017年10月16日
延床面積	3,046 m ²	確認者	DA総合計画



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.0 ★★★★★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
太陽光パネルの設置と建物の長寿命化を目指した	なし
Q1 室内環境 部屋に対して大きく開口をとりながら、遮音性も守っている F☆☆☆☆建材の使用	Q2 サービス性能 部品・部材は補修必要間隔の長いものを使用している
LR1 エネルギー 太陽光パネルの設置	LR2 資源・マテリアル 節水器具の利用
	Q3 室外環境(敷地内) 美観地区認定を取得している
	LR3 敷地外環境 駐輪場・駐車場を確保している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される